

小中高生の絵画73点展示

水戸 来秋開設の美術館前

美術館を軸とした複合施設「テツ・アートプラザ」の、旧三菱UFJ銀行水戸



支店前（水戸市泉町）で24日、小中高生の絵画作品を展示する「泉町ロードギャラリー」が始まった。国道50号沿いの同所に「未来の水戸」「未来の街」をテーマにした作品73点が飾られ、道行く人の目を楽しませている。12月末まで。

同所では、2025年秋の同施設開設に向けた改修工事が進む。作品は五軒小、水戸二中、茨城中・高、大成女子高、常磐大高の児童生徒が出品。水が豊かな水戸をイメージした青基調の作品が多く、水に包まれた街並みなどが描かれている。ギャラリーを主催し、工事を担う田村工務店（同市）が展示作業を行った。

この日、出品したいずれも常磐大高2年の前島未羽さん、磯山和花さん、錦咲

展示された作品の出来栄を確かめる常磐大高生＝水戸市泉町

良さんが展示の状況を確認した。作品には付近の風景や水戸美術館タワーなどを組み合わせて描き込んだ。錦さんは「普段使っている道に飾ってもらえるのはとてもうれしい」と話した。

（小島慧介）